

鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	令和2年度第1回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会
開催日時	令和2年6月25日(木) 13:00~14:30
開催場所	鳥羽市民文化会館 3階 中会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 自己紹介 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度鳥羽市地域公共交通会議決算について 【資料1】 (2) 令和2年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案)について 【資料2】 (3) 生活交通確保維持改善計画(案)について 【資料3】 (4) 鳥羽市地域公共交通網形成計画に基づく個別事業計画に関する評価について 【資料4】 (5) 地域公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールについて 【資料5】 4. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域公共交通計画について 【資料6】 (2) 定期航路旅客荷物輸送実績について 【資料7】 (3) 令和元年度鳥羽市定期航路事業特別会計の決算見込みについて 【資料8】 5. その他
会議資料	事項書・席次表・委員名簿 【資料1】 令和元年度鳥羽市地域公共交通会議決算 【資料2】 令和2年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案) 【資料3】 生活交通確保維持改善計画(案) 【資料4】 個別事業計画に関する評価 【資料5】 地域公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール(案) 【資料6】 地域公共交通計画について 【資料7】 定期航路旅客及び荷物輸送実績 【資料8】 令和元年度鳥羽市定期航路事業特別会計の決算見込みについて
公開・非公開の別	公
傍聴人の数	0人
出席委員	立花会長、伊藤委員、下田委員代理 大津氏、木下委員、西川委員、濱口委員、山下委員代理大峯氏、小寺委員、高木委員、今井委員、田畑委員、福田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	清水委員
事務局	定期船課 世古、野呂、片岡

1. あいさつ

○事務局長

- ・開会
- ・配布資料の確認

○会長挨拶

新型コロナウイルスの影響を受けている昨今の状況において、またこれからの社会においても定期船をはじめとした公共交通機関の役割は大変重要である。今後も感染予防対策を講じながら、安全安心に皆様に利用していただけるよう努めていきたい。

本日の会議は中部運輸局に提出する令和3年度認定申請、及び鳥羽市地域公共交通網形成計画に基づく個別事業計画の評価を中心にご討議いただきたいので、忌憚のない意見をお願いしたい。

2. 定期航路幹事会委員自己紹介

出欠報告と出席者全員による自己紹介を行った。

3. 協議事項

(1) 令和元年度鳥羽市地域公共交通会議決算について

○事務局

資料1について説明。懇談会の開催、鳥羽高校生と連携し作成する旅行プランを設置するパンフレットスタンド購入などの支出に対し、市から補助を受けた。

- ・監事 伊藤委員より監査報告があり、出納は適正であると認められた。

(2) 令和2年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案)について

○事務局

資料2について説明。懇談会の開催、時刻等の「見える化」対応委託料などの支出に対し、市から補助を受ける予定である。

(3) 生活交通確保維持改善計画(案)について 及び

(4) 鳥羽市地域公共交通網形成計画に基づく個別事業計画に関する評価について

○事務局

資料3について説明。定期船利用者は年々減少しているが、利用者数の減少率が離島人口の減少率と同水準もしくはそれ以下となるよう、離島の方々と連携し、観光客の誘客などに取り組んでいく。また、策定した経営戦略に基づき、運営の改善にも努めていく。

続いて資料4について説明。鉄道のダイヤ改正時には速やかに情報を収集し乗継を考慮し、通勤、通学、買い物等に配慮したダイヤ編成としたほか、利用者からの要望等を検討しダイヤ改正するなど利便性の向上に努めた。

○委員

広告事業において実施できたと評価しているが、昨年度の定期航路事業幹事会において座席の背もたれにスポンサーをつけ、座席の修繕料に充てられないか、という意見が出たが、改善されていない。つぎはぎの座席では、観光客のイメージも悪くなる。

また、イベント・業務等での定期船活用を呼びかけるという事業では、評価の説明欄に、呼びかけを行ったと記載があるが、どういったイベントが開催され、好評だった等の記載があるとよいと思います。

○事務局長

船内広告については、昨年ご意見を頂いた際に新たな事業者を確保するのが難しいこと、財源がない中で検査の際に更新していると回答させていただいた。新たな事業者確保に向け、声はかけているが、拡充にはつながっていない状況である。座席については定期検査時に予算化し、取り組みたい。

イベントについて、離島でイベントを行う際は大半が定期船を利用されるが、中にはチャーター船を使用している場合があるため、こういった記載になった。

○会長

定期船を利用した際に座席を確認しているが、既製品でないことや不燃材を使用しなければいけないなど材質も規制があり、単価も高くなる。さまざまな案を検討している。広告収入だけでは難しい。

○委員

「実施していない」と評価した事業はなぜ実施されなかったのですか。また次の計画では改善を考えているのですか。

○事務局長

「実施していない」と評価したのは、バス停留所周辺の美化とJR鳥羽駅の利便性向上についてである。バス停周辺の美化は、実施主体である鳥羽市婦人会連絡協議会が解散したことにより、管理等が難しいため実施に至っておらず、次回の計画では削除を検討している。またJR鳥羽駅の利便性向上については現在バリアフリーに対応していないためJR側と協議をしているが、進んでいない状況にある。今後も取り組んでいく必要があるため、次回の計画にも取り入れるつもりである。

○委員

イベント時に定期船利用を呼びかける、とあるが定期船課が主体となってイベントを開催せず、呼びかけるだけなのですか。去年は答志島のウォーキングもなくなってしまった。

○事務局長

イベントの主催は他の部署となるため、定期船利用を呼びかけていくつもりである。予算の都合で中

止となったイベントもあるが引き続き協力を依頼していく。

○委員

もっと定期船の運航に関して島民の意見を集約できるようなアンケート等を取り、反映した方がいいのではないですか。

○事務局長

網形成計画の最終年度にあたり、地域公共交通計画策定のためアンケートを実施つもりでいる。集約後アンケート結果を会議で公表させていただく。

○委員

個別事業計画に関する評価内で時刻、乗換経路等の見える化推進について「概ね実施できている」と評価しているが、令和2年度予算にも見える化対応で予算が計上されている。こういった違いがあるのですか。

○事務局長

令和2年度に行うのは特に外国人がよく利用する Google の見える化を行うものである。三重県で取りまとめを行い業者へ委託する。評価に上がっているものは、NAVITAIME 等での検索に対応しているため「概ね実施できている」と評価した。

○会長

それでは、生活交通確保維持改善計画を提出させていただくこと、及び鳥羽市地域公共交通網形成計画に基づく個別事業計画に関する評価について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。(全員の挙手あり)

(5) 地域公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール(案)について

○会長

新型コロナウイルス感染症の影響により、定期船やバス等の公共交通の利用が大きく減少している。公共交通は大変重要なものであり、崩壊させてないために緊急アピールを宣言したいと考えている。

○事務局

バス幹事会加藤委員より提案頂いた。公共交通の利用促進と支援につなげるためのアピールとなっている。

○会長

観光客が減少し、以前の利用状況に回復するのは難しいと予想される。将来的に公共交通を残していくためにも、利用して残していくということを認識いただきたい。また国や県に対して支援してもらえようアピールしていく。

○委員

どういうふうに発信してくのですか。

○会長

あらゆるコンテンツを利用し発信していく。鳥羽市の YouTube、広報とばへの掲載や、今後国や県に要望に行く際に組み込む等検討している。他の市町でも緊急アピールが宣言されているため、広域的に活用する場合は歩調を合わせて行うつもりである。

それでは、この地域公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピールにご賛同いただける方は拍手をお願いします。(全員拍手)

4. 報告事項

(1) 地域公共交通計画について

○事務局長

資料6について説明。法律が改定され地域公共交通網形成計画から地域公共交通計画へと変更される。現在の法律では、公共交通事業者が市町においてネットワークを形成し利便性を図るのが目的であったが、人口減少や運転手不足が深刻化し、移動手段を維持していくのが困難な状況にあるため、公共交通を中心に地域の輸送資源を総動員し、地域の方や観光客のニーズに対応できるよう地域公共交通計画を策定していく予定である。平成29年度に策定した地域公共交通網形成計画が最終年度となるため、関係部署と連携し地域公共交通計画の策定に向け取り組んでいるので、ご協力をお願いしたい。

(2) 定期航路旅客荷物輸送実績について

○事務局

資料7について説明。平成30年度と比べ旅客、荷物ともに減少している。新型コロナウイルス感染症の影響も受けており、定期乗船券が大きく落ち込んだが、回数乗船券利用が上昇した。

(3) 令和元年度鳥羽市定期航路事業特別会計の決算見込について

○事務局長

資料8について説明。

5. その他

○委員

個別事業計画に関する評価内でタクシー割引チケット事業を概ね実施できていると評価があるが、すでに実施されているのですか。現在鳥羽市ではタクシーの台数が少なく利便性が悪い。利用者アンケート等はとっているのですか。

○事務局

健康福祉課が主体で行っている事業である。利用者へのアンケート等を行っていないのではないか。

○委員

来月しろんご祭りの神事のみを行う予定でいる。島外からの方の乗船を断ってくれませんか。

○事務局長

感染症に感染している方や他の乗客に迷惑をかけている方等でないと乗船拒否はできない。

○委員

座席について、次回修繕を行う際は汚れが目立たない色にしてほしいですね。

○事務局長

検討します。

6. 閉会

○立花会長

令和2年度第1回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会の議事については全て終了しました。今後開催させていただく定期航路幹事会について、再度出席をお願いし会議を終了させていただきます。